



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2024年4月18日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

横浜市／まちまど・洋光台シェアベース実行委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/>

『結び手』が見守るおせっかいスペースが完成

「食」をテーマに繋がる、食のシェア空間『シェアベース洋光台』

『ヨコハマ市民まち普請事業』では、施設設備を伴う身近なまちづくり提案を2回の公開コンテストで選考し、「最大500万円」を助成するが、このほどこの同事業を活用して、横浜市磯子区洋光台に、すべての人の暮らしに共通する「食」をテーマにした、食のシェア空間『シェアベース洋光台』がオープンした。

『シェアベース洋光台』は、まちの情報発信拠点『まちまど』のスタッフや洋光台の地域住民などをメンバーとする『まちまど・洋光台シェアベース実行委員会』の手によって、磯子区洋光台3丁目の「洋光台中央団地」の一角でスタート。空き店舗の1・2階に、「まち普請」を活用して、菓子製造許可・飲食店営業許可取得のキッチンや客席などを整備。1階は出店者と地域の方の会話やつながりが生まれる「チャレンジキッチン」、2階はイベントやワークショップもできる「コミュニ

ティスペース」となっている。

『「シェアベース」には、人と人、人と体験、人と情報、人と地域などを結ぶサポートをする「結び手」がいます。まちの情報拠点『まちまど』には、かねてから『食』にまつわる仕事へのチャレンジや小商い、地域活動を行

いたいという願いが多く寄せられていました。そのような人たちを、「結び手」は見守り、おせっかいをし、そして寄り添います。「結び手」が同じ思いの人同士を繋ぐことで、食でゆるく繋がる居場所を目指しています——(シェアベース実行委員会より)。



<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/toshi/2024/0409sharebese.html>

シニアが元気になると
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

—入会費・年会費なし—

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



高齢ドライバー免許更新「認知機能検査」を擬似体験

模擬テストサービス『あんしん更新75』をリリース — Crossroads —

Aアプリ開発を手がけるCrossroads（東京都新宿区）では、75歳以上の高齢者が運転免許更新の際に受検が必須となる、「認知機能検査」の準備をサポートするための模擬テストサービス『あんしん更新75』をリリースした。インターネット環境があれば、いつでもどこでもタブレット、パソコン、スマートフォンを使って受検することができる。模擬テストは警察庁公表の問題形式・採点基準に則って作成されており、指示に従って回答していくことで本番に近い環境で検査を疑似体験することが可能だという。

「多くの高齢者にとって運転免許更新時の検査が、はじめての『認知機能検査』です。検査当日、最も重要なことは『平常心』で受検することだとも言われます。この模擬テストは、警察庁公表の検査問題や採点方法などに基づき、実際の検査環境を極力再現しており、検査の疑似体験を提供することで、本番の検査に落ち着いて臨めるよう高齢ドライバーをサポートします——（同社より）。

アプリの利用手順は、デバイスを選択し、アカウントを新規

登録後、「テストチケット」を購入して模擬テストを開始。料金は「1回495円（税込）」から。「複数回まとめて購入すると適用される割引が適用されます。お支払いはクレジット決済に対応しています——（同社）。

三洋堂書店よもぎ店「スマート無人営業」開始

『無人店舗ソリューション』を活用 — HOUSEI —

顔認証ソリューションを展開するHOUSEI（東京都新宿区）では、三洋堂書店（名古屋市瑞穂区）に対して、同社の『無人店舗ソリューション』を提供。三洋堂書店では「スマート無人営業」の2店舗目として、『三洋堂書店よもぎ店』（名古屋市名東区）にて24時間営業を開始した。

『無人店舗ソリューション』は、AI（人工知能）・ITを活用したHOUSEIの省力化店舗運営支援サービス。「非対面

接客・働き方改革・人手不足解消…さまざまな課題解決に、HOUSEIは無人店舗ソリューションをご提案します。顔認証自動ドア解錠サービス・web会員予約サービス・監視サービス・無人決済サービスなどのソリューションで、新時代の無人店舗運営を実現します——（同社より）。

解錠サービス・web会員予約サービス・監視サービス・無人決済サービスなどのソリューションで、新時代の無人店舗運営を実現します——（同社より）。



<https://www.housei-inc.com/lp-mujin>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進
身近な**発明展**
身近な**ヒント**

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第81回 松葉杖生活をサポートするエプロン 『ツエプロン』



▲使用動画



無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル
☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

<https://www.hatsumei.or.jp/>

全治2年の骨折をした、主婦の角住由美さん。慣れない「松葉つえ生活」がはじまりました。生活が一変した中で、「松葉つえ生活の3つの大変」を見つけました。

1つ目が「腕を上げられないこと」です。腕を上げると松葉杖が倒れ、拾い上げるのにも「苦勞です。2つ目が「荷物を運べないこと」です。

両手で松葉つえを操作しながら、荷物も持つため「苦勞です。三つ目が「階段が怖い」こと。手すりを持つと、もう片方の手で、松葉つえを持たなければならず、大変な恐怖感です。これらの欠点を、どうにか解決できないかと考え、試作品を何度も作り、完成させたのが「ツエプロン」です。

構造上の特徴は、エプロンの胸当て横に黒いバックルが付いたベルトを取り付けられています。また、肩紐部とエプロン裾裏部には白いバックルが取り付けられています。そのほか、肩紐の裏には滑り止めと、エプロン正面部に大きなポケットが取り付けられています。使い方は簡単。まず、松葉杖の腋当てに付属のベルトを装着し、胸当て横についている黒いバックルと連結して使用します。これにより、手を離してもベル

トで保持されるため、松葉つえが倒れる心配がなくなりました。階段の昇降の際は、エプロン裾裏部と肩紐部についている白いバックルで、松葉つえのハンドル部を通して固定します。すると階段から浮かせた状態に固定して昇降できるため、動作が楽になりました。

自立した松葉杖生活と、家族や介助者の負担を減らす事ができ、なんとも「福祉機器コンテスト2023 最優秀賞受賞」「第9回女性起業チャレンジ大賞 特別優秀賞受賞」という最高の評価を得た角住さん。このたび発明学会ネットショップで販売をはじめました。全国に売れて行った「ツエプロン」は、一人でも多くの松葉つえ生活に悩む方々を笑顔にしてくれることでしょう。今後の活躍が楽しみです！（松野泰明）

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野均の「シニア`萬、遊記」第79回

成年後見制度が変わるらしい

成年後見制度はご存知でしょうか。認知症や障害などで判断能力が十分でない人の財産管理や契約のサポートをするために後見人を置く制度です。2000年に介護保険制度と同時に始まりました。

判断能力が低下した後、裁判所が支援する人を選ぶ「法定後見」と、判断能力があるうちに将来に備えて選ぶ「任意後見」があります。しかし全体の利用者は2022年末で24.5万人と、広く活用されているとは言えない状況のようです。

私も、母親が認知症になった時に自分が後見人になれないかと思い成年後見制度を調べてみましたが、制度そのものが使いづらく、出た結論は「使えない」でした。

成年後見制度の主な利用動機は相続手続きですが、相続手続きが終わっても、後見人が不正行為をした場合以外は基本的にやめることができません。そして後見人への報酬の支払は続けなければなりません。むしろ邪魔な存在になります。また後見人に与えられている権限も大きすぎて、本人の権利を必要以上に制約しており、国連の障害者権利委員会からも2022年、意思決定を代行する制度の廃止などを勧告されていました。

今回やっと法務省が見直しに着手するようですが、見直しの論点は、●制度の利用に「期間制」を設けるような仕組み ●法律行為を包括的に代理する後見人の権限を制限するような仕組み ●後見人らを交代しやすくするような仕組み——などです。

2025年には認知症の高齢者が約700万人に増えると推計されており、使いやすい制度にするためには早急な議論が必要です。



*画像はイメージです

Author / 林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 <https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310